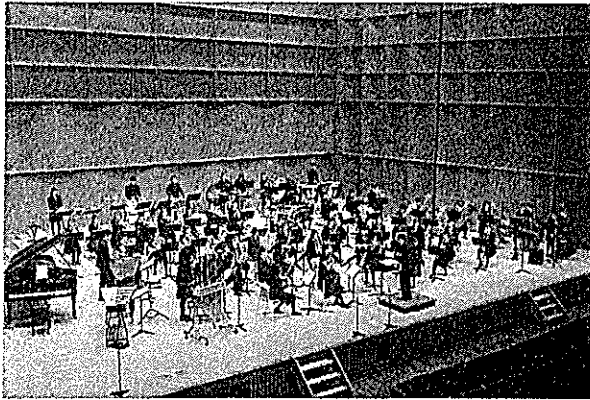


合同演奏も響かせ 酒田の高校一堂に 吹奏楽部、合唱部コンサート



酒田市内の高校の吹奏楽部や合唱部が一堂に会して演奏を披露する「WELCOM Eコンサート2023」が29日、同市の希望ホールで行われ、高校生たちが気持ちのこもった演奏を響かせた。

酒田東、酒田西、酒田光陵、酒田南の4校が出演。

小・中学生はじめ市民に音楽の魅力を発信することで、年々減少傾向にある吹奏楽部や音楽部の部員数を増やそうと、庄内地区高校文化連盟吹奏楽専門部が2019年に初めて実施。翌20年以降はコロナ禍の影響を受けて中止が続き、4年ぶりの開催となった。

この日は間もなく高校生となる中学3年生をはじめ多くの市民らが訪れ、酒田西によるグスタフ・ホルスト「吹奏楽のための第一組曲第3楽章『マーチ』」で幕開け。酒田南はフラッシュモブ演出で「Fox apture plan We Are Confidence Man」、酒田東は新入生へ歓迎の気持ちを含めて後藤洋「小さな祝典音楽」、酒田光陵はスタンドプレーで宮川彬良「マッケンサンバII」などをそれぞれ披露、特色ある演奏で会場を大いに盛り上げた。

このほか、友情出演の酒田東・酒田西合同の合唱、酒田西による弦楽演奏も。

酒田市内の高校吹奏楽部が一堂に会したWELCOM Eコンサート

最後は4校の吹奏楽部員総勢56人がJ・P・スーザ「雷神」、R・W・スミス「海の男たちの歌」、ラフ「エル・フェルナンデス」を演奏、厚みのある演奏に聴衆からは大きな拍手が送られた。

庄内日報(令和5年4月1日 土曜日)より転載